

自治体 あいちの仲間

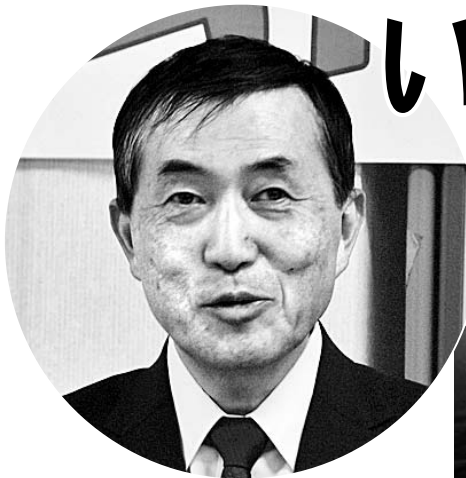
発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
U R L http://www.jaichi.jp TEL 052 916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX 052 916-2308

2010.12.10
No.1017

発行責任者 伊藤 慎次 定価 10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

県本部第106回臨時大会

日時：1月15日(土)
10時受付 10時30分開会
場所：日本ガイシホール



いまこそ県政転換のとき だれもが安心して くらせる愛知に

愛知県
知事選挙

革新県政の会

土井敏彦さん 擁立決定

革新県政の会は、12月4日、臨時総会を開き、1月20日告示、2月6日投票の県知事選で土井敏彦氏の擁立を決定しました。土井氏と「会」は総会で、県民のくらし、福祉、平和を守り、地域経済活性化と若者の雇用拡大などを掲げてたたく政策・組織協定を結びました。

土井氏は、「愛知県で生まれた人や、愛知県で過ごした人が、愛知県でよかったなと思うような県政にしていきたい」と、決意を述べました。

① 大企業と大型開発優先の税の使い方をあらため、県民のくらし、福祉、教育、環境優先の県政に転換します。

② 地域経済のしくみを、異常な外需依存から内需主導に切り換え、財界・大企業応援から、家計・中小企業、農林漁業応援の県政に転換します。

③ 国追従ではなく、住民本位の県政に転換します。

④ 海外派兵・基地強化に反対し、憲法9条を生かす平和な愛知づくりの県政に転換します。

土井 敏彦(どい としひこ)

1946年10月28日、神奈川県横浜市生まれ、64歳

職業 医師(南医療生協勤務=嘱託=)。専門は内科、小児科
職歴=発足初期の南医療生協に入職し、一貫して地域医療に携わる。前有松診療所所長

学歴 東京教育大学付属駒場高校、名古屋大学医学部卒

現役職 愛知県保険医協会理事(2003年6月~)。公害対策部会部長(2007年7月~)

その他 核戦争に反対する医師の会愛知で活動。
2010年5月に開催された核拡散防止条約(NPT)再検討会議ニューヨーク行動にも参加。

家族 妻と長男

趣味 合唱、旅行、山歩き、切手収集、囲碁、自転車



討論に参加する愛知の参加者

自治労連は、12月2日、3日、名古屋市内で「2011年国民春闘討論集会」を開催しました。全国29地方組織、8県事務所、236人が参加し、春闘方針が提起され、秋季年末闘争の運動の到達点や、教訓をふまえた2011年春闘にむけて活発な討論となりました。

愛知からの発言(要旨)

特別報告・岡田美穂子さん(愛知関連協議長)「今年2月に再建された関連協のとりくみについて。非正規労働者が増え、運動の中心として関連協が必要。10月からアンケートと署名、各単組へのオルグを開始し交流している。全体の賃金・労働条件の底上げが必要。県内単組で非正規の組織化がすすんでおり、1700人が加入。声をあげられない非正規の声をひろってほしい」

鈴木和仁さん(名古屋市職労)「市民の願いに応える、働きがいと元気を取りもどす運動として、生活アンケートと中小企業アンケートにとりくんでいる。アンケートに寄せられた声をもとに2月の知事選挙と市長選挙がんばる」

酒井文子さん(名古屋市職労)「本部女性部のとりくみについて。男女共同参画について。意思決定機関において、男女平等を促進する勧告がでている。母性保護・女性の権利など職場単位の学習会をとりくむ」

幅広い怒りを結集し共同をひろげよう

自治労連・2011年国民春闘討論集会

開会あいさつで、野村幸裕中央執行委員長が、国が来年の通常国会で人勤をさらに深掘りする法案を上程しようとする情勢にふれ、2011年春闘は「職場の要求・地域要求を実現するために、国民春闘を発展さ

せていこう」と語り、「いっせいで地方選挙で政治の流れを変える環は『地域』にある。労働者や農民など幅広い怒りを結集しながら、共同を広げたたかっという」と呼びかけました。

今春闘では、①何よりも危機的な状況にある国民・労働者のくらしを立て直す春闘に、②地域主権改革の具体化許さず、自治体・公務公共業務の役割を發揮する春闘に、③「労働基本権回復」を視野に、全単組・全組合員が総決起し、公務・民間、地域からの共同を広げ、中央に総決起する春闘に、を柱に、攻勢的に立ち向かう春闘にと決意を固めました。



春闘勝利にむけ団結 ガンパロー

イハさん健闘! 「県外移設」は沖縄の公約

沖縄知事選挙の結果は、約4万票の差で伊波洋一氏が惜敗しました。

がつかえます。

政府は、なおも辺野古移設の日米合意にこだわっていますが、両陣営が「県外移設」を公約した意義は重いものがあります。米国に「県内移設は許さない」と説得する必要があります。

9月の尖閣諸島沖での中国漁船衝突事件や、投票直前の北朝鮮による韓国への坪島(ヨンピョンド)への砲撃も惜敗の要因の1つではないでしょうか。石垣島や宮古島、八重山諸島など尖閣に近い地域で、自衛隊配備に賛成した仲井真氏が得票を伸ばしたことに影響

伊波 洋一
297082票
仲井真弘多
335708票



よびかけに快く署名をしてくれました

思い伝え広がった 署名1760筆

医師・看護師・介護職員増やせ 12・4ドクター・ナース・介護ウエーブ

12月4日、社会保障を大幅に増やして、よりよい医療・介護の拡充を求めて、「12・4ドクター・ナース・介護ウエーブ」が名古屋・若宮広場周辺で開催され、86人が署名行動などを展開。自治労連からは名古屋市職労組・春日井市職労・半田市職・豊橋市職労・豊川市病職労組が参加しました。

このとりくみは、愛知県医労連・愛知民医連・自治労連愛知県本部の共同で開催されたもので、医師や看護師・介護職員が「夜勤の改善や看護師など大幅増員」「介護保険制度改善」を求めて署名・宣伝行動を行いました。署名もすすみ対話もはすみ、1時間で1760筆が集まりました。

その後パレードで元氣よくアピールしました。

この間のとりくみで、労働局への申し入れや、看護サミットなどあらゆる場面

で、看護労働の改善を求めて運動をしてきました。こうした動きが政治に影響を与え、民主党内で看護議員連盟が発足し、看護労働改善への法整備に動き出そうとしています。

介護保険については、軽度者の保険外しや、介護職員処遇改善交付金を保険料に組み入れようとするなど、現行よりひどい介護保険制度の改正法案が来年の

通常国会で提出予定となっています。利用料の心配をせず介護が受けられ、働きつけられる条件整備を求めて、介護保険制度の抜本的な改善が必要となっています。



さらにとりくみを進め、安心・安全でよりよい医療・介護を求め、署名10万筆を目標に奮闘しています。

指定管理者制度導入反対

緑市民病院で座り込み抗議行動

名古屋市内は、5つの市立病院を西部医療センター（城北・城西）・東部医療センター（東・守山）と1病院（緑）に再編し、医療機関の集約化と役割分担をすることで、限られた医療資源を最大限に活用すると

してきました。しかし実態は、慢性的な医師・看護師不足、城西病院の民間譲渡、守山市民病院の縮小など、「誰もが安心して利用できる市民病院」から、かけ離れたばかりです。



直営で市民のいのちを守れと座り込みをする組合員

緑市民病院では、指定管理者制度導入が、11年4月で準備されていました。しかし、現行水準では応募がないため、医療水準を大幅に後退させる、病床数300床から200床への大幅な削減、分娩は必須としないなどの条件で再募集を行い、12年4月導入予定候補者を選定しました。

これに対し、名古屋市職労組が、12月8日、病院前で座り込み抗議行動を行いました。参加した組合員からは、「指定管理者制度が導入されれば、営利を追求することが優先され、採算部門（救急・災害医療など）の切り捨てが懸念される」「お産ができなくなるのは問題だ」「職員は市民によりよい医療をとがんばっている。直営で市民のいのちを守りたい」など怒りの行動となりました。



11月29日、「名水検学習決

契約料のカット許さない 検針員労組が決起集会

名水検針員労働組合が「起集会」を開催し、82名が参加しました。

決起集会にあたっての学習会は「社会保険の基礎」を社会保険労務士の神谷さつき先生が講演しました。参加者からは「私たちは労働者ではないの？」「何をクリアすれば労働者？」「勤務時間が自由ではなく、勤務中の喫茶店利用もダ

組が、12月8日、病院前で座り込み抗議行動を行いました。参加した組合員からは、「指定管理者制度が導入されれば、営利を追求することが優先され、採算部門（救急・災害医療など）の切り捨てが懸念される」「お産ができなくなるのは問題だ」「職員は市民によりよい医療をとがんばっている。直営で市民のいのちを守りたい」など怒りの行動となりました。

引きつづき、医師・看護師の緊急補充と、指定管理者制度導入の凍結、市立直営堅持を求めて運動を強めています。

誇りを胸に 不屈の23年 国鉄闘争

大きな勇気を与えてくれる勝利



の工藤博志さんとともに、解決を喜び合いました。と位置づけ、全国の仲間が、一緒に国鉄闘争をたたかい、物心両面で支えてきたことが、今日の解決を迎えさせました。

今日、新自由主義路線が世界的規模で破綻し新しい経済秩序の確立が追求されています。度重なる労働者への賃金カットや下請け中小企業への単価切り下げで大企業の一人勝ちという、デフレ解消を企む政府・財界の横暴を打ち砕いたたたかいに、国鉄闘争の勝利は大きな勇気と展望を与えてくれています。安定した雇用の確立と、人間らしい生活ができる賃金・労働条件の確保へ、みんなでたたかきましょう。

メと言われている」など、様々な質問が飛び交いました。神谷先生は「労働者としての基準はクリアしている、実質は労働者。労働基準監督署に申し立てるべき」と答えました。

決起集会では、23年4月からの契約提案で契約料5%カットなどの提案が出ていることを報告した上田委員長は、「組合対当局との交渉で今までと扱いが決まる。駆け引きとなるが、3月末までたたかう姿勢で臨む」と力強く方針を提起しました。